

Wellness Valley Mobility Friendly Day 2023

～casual car talk time～

人生100年時代を迎える中、買い物や社会参加等の生活インフラとしてのモビリティとの共生はこれまで以上に重要性を増しています。自動車メーカーでは高齢者や要介護者を対象とした製品やサービスを開発・販売を進めていますが、医療・介護の現場や生活の場での認知度浸透や、開発ニーズの把握には大きな課題があります。

本会では、トヨタ自動車が取り組む「身体の不自由な方や高齢の方を対象とした車両と自動車アクセサリー」の事例紹介やデモンストレーション展示を行うとともに、「医療・介護の現場や生活の場での導入のポイント」や「今後期待される開発」などをテーマにセミナーを行います。

医療、介護、リハビリテーションに従事し、在宅または施設にて身体の不自由な方や高齢の方の移動のサポートをされている皆様の御参加をお待ちしております。

日時・場所

定員

2023年11月22日(水)

50名

13:30～16:30 (セミナーは14:00～15:00)

参加
無料

国立長寿医療研究センター(愛知県大府市森岡町7-430)

対象: 身体の不自由な方や高齢の方を対象に在宅または施設にて医療、介護、リハビリテーションに従事する皆様。特に車での移動のサポートをされている方。

アクセサリー事例・デモンストレーションの一例



車いす乗降時の段差を解消し、介助する方、される方の負担を軽減



シートを回転&傾けることで、乗り降りをサポート

セミナープログラム	
開会挨拶 14:00	国立長寿医療研究センター病院長兼健康長寿支援ロボットセンター長 近藤和泉氏
14:05-14:25 講演	移動寿命100年プロジェクトが造るこれからの幸せの量産 ●トヨタ自動車 C&A事業部主査 木全 厚 氏 高齢者・要介護者の外出機会創出の必要性和モビリティへの期待 ●国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター 健康長寿テクノロジー応用研究室長 大高 恵莉 氏
トークセッション 14:25-14:55	上記講演者に加え、社会福祉法人成仁会 特別養護老人ホームメドック東浦 理事長 吉田 禎宏 氏、 モデレーター 大府市商工業ウェルネスバレー推進課 戸田 稔彦
閉会挨拶 14:55	大府市産業振興部長 寺島 晴彦

協力: なごや福祉用具プラザ



国立研究開発法人

国立長寿医療研究センター

National Center for Geriatrics and Gerontology

TOYOTA

* * * 申 込 方 法 * * *

以下のURLから「大府市アンケートシステム」にてお申込みください。

URL : <https://www.city.obu.aichi.jp/cgi-bin/enquetes/3466799484b64706aa72fbd211d91a64>

(参加証は発行しません。定員超過により
申込をお断りする場合は11月20日までに
メールで連絡します。)



会場アクセス

■会場

国立長寿医療研究センター

セミナー: 第1研究棟 ロビー

デモンストレーション展示: 第1研究棟前ロータリー及び1階室内展示スペース

■交通アクセス(公共交通機関でのご来場にご協力ください)

<御参考> <https://www.ncgg.go.jp/ncgg-overview/access.html>

JR大府駅または緒川駅から
バスが利用できます。

大府駅から
知多バス 又は
大府市循環バス

緒川駅から
東浦町運行バス



新型コロナウイルス感染防止対策

当日、発熱または咳・全心痛等の症状がある場合、体調が優れない場合は
参加をお控えください。

ウェルネスバレー推進協議会について

大府市と東浦町は両市町にまたがる「あいち健康の森とその周辺地区」をウェルネスバレーと名付け、ウェルネスバレー推進協議会を設立し、「ここに生まれてきてよかった」「ここで暮らして良かった」と思える幸齢社会(こうれいしゃかい)の実現を目指しています。「生きがいをもって働き、暮らせるまち」「特色を活かした新産業の創出・育成」を目指した活動に取り組んでおり、近年では「医福工連携マッチング」を推進しています。本事業はトヨタ自動車と国立長寿医療研究センターのマッチングにより、実施するものです。

【事務局(お問合せ先)】

ウェルネスバレー推進協議会事務局(大府市商工業ウェルネスバレー推進課)

TEL:0562-45-6255 FAX:0562-47-7320

E-メール: shoko@city.obu.lg.jp